

法人名：

公益財団法人 秋田県林業労働対策基金

設立年月日 平成4年7月28日

1 法人の概要

代表者職氏名	理事長 佐藤 龍司	基本財産等	909,935千円	県出資等額及び比率	620,000千円	(68.1%)	所管部課名	農林水産部林業木材産業課
設立目的	秋田県内において林業労働に従事する者の就労条件を改善し、林業従事者の安定的確保を図るとともに、若年林業従事者の育成及び確保を促進させることにより、林業の安定的発展に寄与することを目的とする。							
事業概要	①林業従事者の確保、育成に関する事業 ②林業従事者の就労条件の改善に関する事業 ③林業従事者の林業労働に係る安全と衛生の確保に関する事業 ④森林管理の重要性の普及及び啓発に関する事業 ⑤林業労働力の確保の促進に関する法律第12条各号に掲げる事業 ⑥その他この法人の目的を達成するために必要な事業							
関連法令、県計画	林業労働力の確保の促進に関する法律、秋田県林業労働力の確保の促進に関する基本計画							
役員数 (R5.7.1現在)	理事		監事		評議員		計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
	1	4		2		5	1	11
	職員数 (R5.4.1現在) 正職員 5(1) 出向職員 臨時・嘱託 計 5(1) ※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧(内数)で表示。							

2 法人の行動計画(令和4~7年度)

県関与のあり方	継続	経営状況	安定	取組の方向性	・安定的経営の継続 ・公益的事業の安定実施
目標	○林業従事者の安定的確保に向けた公益的事業の安定実施に努める。				
取組	○林業従事者の育成を図るため、ニューグリーンマイスター認定者を新たに125人確保する。 【目標】ニューグリーンマイスター認定者 32人/年 ○林業労働者の就労条件の改善を図るため、退職金共済加入者を増加させる。 【目標】退職金共済助成対象者 R2年度:610人→R7年度:690人 R3年度:626人、R4年度:642人、R5年度:658人、R6年度:674人、R7年度:690人				

3 財務

①正味財産増減計算書

(単位:千円)

区分	令和3年度	令和4年度
経常収益	95,980	92,084
基本財産・特定資産運用益	14,352	14,757
受取会費・受取寄附金		
受託事業収益	1,490	3,375
自主事業収益		
受取補助金・受取負担金	80,106	73,905
その他の収益	32	47
経常費用	99,353	95,103
事業費	94,179	90,405
管理費	5,174	4,698
人件費(事業費分含む)	20,542	22,457
当期経常増減額	△ 3,373	△ 3,019
経常外収益		
経常外費用		
当期経常外増減額		
当期一般正味財産増減額	△ 3,373	△ 3,019
当期指定正味財産増減額	116	88
当期正味財産増減額合計	△ 3,257	△ 2,931

②貸借対照表

(単位:千円)

区分	令和3年度	令和4年度
流動資産	21,497	20,891
固定資産	995,285	995,059
資産計	1,016,782	1,015,950
流動負債	2,336	1,749
短期借入金		
固定負債	8,439	11,124
長期借入金		
負債計	10,775	12,873
指定正味財産	909,846	909,934
うち基本財産充当額	909,846	909,934
一般正味財産	96,161	93,143
うち基本財産充当額		
正味財産計	1,006,007	1,003,077
負債・正味財産計	1,016,782	1,015,950

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

③県の財政的関与の状況(事業費補助・委託を除く)

(単位:千円)

区分	令和3年度	令和4年度	支出目的等
年間支出			
年度末残高			

<主な経営指標>

項目	令和3年度	令和4年度	増減※
経常収支比率 (経常収益÷経常費用)	96.6%	96.8%	+0.2
流動比率 (流動資産÷流動負債)	920.2%	1194.5%	+274.2
自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)	98.9%	98.7%	△0.2
有利子負債比率 (有利子負債÷純資産計)			

※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。

<退職給与引当状況(単位:千円)>

要支給額	引当額	引当率(%)
11,124	11,124	100.0%

法人名：

公益財団法人 秋田県林業労働対策基金

I 自己評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況	2 経営状況
<p>【令和4年度実績】</p> <p>○ニューグリーンマイスター認定者（育成学校卒業生）23人</p> <p>○退職金共済助成対象者 R4年度 625人</p>	<p>【令和4年度実績】</p> <p>○当基金では収益事業を実施していないが、基本財産等を安全な有価証券で運用し、安定した収入（1,476万円）を確保した。</p> <p>○県から事業補助金や受託収益（7,728万円）を得て、公益目的事業等を実施し当期経常増減額は3,018千円の赤字であるが、公益目的事業のための特定資産を充てており経営は安定している。</p>
<p>【自己評価】</p> <p>○退職金共済助成対象者数は目標をほぼ達成（97%）できたほか、ニューグリーンマイスター認定者数は目標を下回ったものの、当プログラムは本県における林業従事者の技術力維持・向上に一定の役割を果たしている。今後は目標の達成に向けて、当基金の支援制度が十分に活用されるよう、各種会議やSNS等により県内事業者への周知強化を図る。</p> <p>○林業従事者の育成・確保や就労条件の改善を図るため、高校生や求職者を対象にした林業体験研修や事業者への相談指導、各種助成を実施した。</p>	<p>【自己評価】</p> <p>○財団の事業は、県からの補助金や受託収入、基本財産の運用益により実施しており、正味財産残高（約10億円）も十分であることから、事業実施・経営の財政基盤は安定している。</p> <p>○今後も毎年の収支均衡を維持しながら、林業労働者の確保・育成や就労条件の改善を図るため、各種の研修や助成事業を継続して実施していきたい。</p>
評価	評価
C	A

II 所管課評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況	2 経営状況
<p>○当支援制度を活用する事業者が少なかったことにより、行動計画に掲げた2項目の目標値は達成できなかったものの、求職者に対する就職先の斡旋やマッチング等の実施、事業者への相談指導等を幅広く実施し、林業従事者の安定的確保に向けた公益的事業を継続的に進めており、本県林業における雇用環境の改善に寄与している。</p>	<p>○主な事業は、林業の担い手を確保・育成するための、林業担い手育成基金を活用した県からの補助金で実施しており、財団の財務基盤は安定している。</p>
評価	評価
C	A

III 委員会評価

総合評価	法人全体の取組・運営状況に関するコメント
B	<p>○行動計画に定める目標については、達成ができなかったものの、年度ごとの変動はやむを得ないものと斟酌され、地道な活動を進めている点については評価できる。</p> <p>○経営状況については、財政基盤が安定しているものの、正味財産が減少していることから、安定的経営が図れるような取組を継続していく必要がある。</p>

【委員からの提言】

<p>○林業の担い手確保、育成のためには、危険・キツイ・儲からないといったイメージを一新し、魅力を伝えていくような取組が重要となることから、新規就業者等との関わりや業界への貢献度について、PRする取組を進めていくべきと考える。</p>
---

委員会評価を踏まえた対応方針

法人の対応方針	所管課の対応方針
<p>○本県の豊かな森を守り育む林業の担い手を確保・育成していくため、一般の県民や高校生を対象に林業の魅力を発信する取組を拡充するとともに、「あきた森の仕事ナビ」（ウェブサイト）等の職業紹介・情報発信力を強化していく。</p>	<p>○安定的な経営を図るため、事業量の確保やコスト削減を進め、さらなる新規就業者の確保に向けて「無料職業紹介所」の機能を十分に発揮するよう指導する。</p>